



第 87 卷 総目次

平成 16 (2004) 年

【論 説】

対日講和とアメリカの「太平洋協定」構想	浜井和史	一
共和三年における旬日祭典の再編	山中聡	一（三六）
山西洪洞県水利碑考	井黒忍	一（七〇）
皇極朝の阿倍氏	笹川尚紀	一（一〇四）
拝領屋敷の利用にみる武士の屋敷観と武家地管理政策の展開	渡辺理絵	二（一四五）
一九世紀後半における英国の転換とフィランスロピー	金澤周作	二（一八一）
冷戦初期アメリカ合衆国の台湾政策	吹戸真実	二（二二五）
ラピタ文化複合の解体過程	石村智	三（二八七）
近世京都における町入用節減令と町	朴晋燠	三（三二六）
「悪しき慣習」とフランス封建社会	轟木広太郎	四（四二一）
徽州商人と明末清初の芸術市場	井上充幸	四（四五四）
青木外相期の条約改正交渉	大石一男	四（四八六）
中国北朝における瓦生産の展開	向井佑介	五（五六三）
古代日本の紡織体制	東村純子	五（六〇三）
イングランド国教会における教会観の変化 一八八九—一九二四年	井上治	五（六四二）
平安初期の天皇権威と国忌	堀上裕	六（七一九）
高麗時代における土地所有の諸相	矢木毅	六（七四九）

ギユイエンヌ商業会議所の活動とフランス王国経済政策……………君塚弘 恭…六（七八一）
 地域における近代日本の「戦没者慰霊」行事……………白石哲夫…六（八二一）

【研究ノート】

『和気系図』に示された系譜意識……………吉川敏子…二（二五一）
 アカイメネス朝支配下小アジアにおける「ギリシア文化」と「ペルシア文化」……………阿部拓児…三（三五四）
 一三世紀チエコ王権の政策における都市の役割……………藤井真生…三（三七二）
 鎌倉期公家知行国の国務運営……………宮本晋平…五（六七六）

【研究動向】

ミトラス教研究の現在……………井上文則…四（五一八）

【書評】

ピエール・ノラ編（谷川稔監訳）『記憶の場』……………松本彰…二（二七四）
 南川高志著『海のかなたのローマ帝国』……………桑山由文
 堀内隆行
 疋田隆康…三（三九二）
 谷川稔編『歴史としてのヨーロッパ・アイデンティティ』……………山辺規子…三（三九九）
 J. Rider, *God's Scribe: The Historiographical Art of Galbert of Bruges*……………青谷秀紀…三（四〇五）
 井野瀬久美恵著『植民地経験のゆくえ』……………堀内隆行…四（五四四）
 朝治啓二著『シモン・ド・モンフォールの乱』……………中村敦子…五（六九六）

Barbara Mittler, *A Newspaper for China?*.....片 柳 香 織・五（七〇四）

A. E. Laiou and R. P. Mottahedeh eds., *The Crusades from the Perspective*

of Byzantium and the Muslim World.....橋 川 裕 之・六（八四三）

【紹介】

マーガレット・シュトロール著（井野瀬久美恵訳）
『女たちは帝国を破壊したのか』.....金 澤 周 作・一（一三一）

ヒラール・サービー著（谷口淳一・清水和裕監訳）『カリフ宮廷のしきたり』.....後 藤 敦 子・一（一三三）

岡村秀典著『夏王朝』.....伊 藤 淳 史・三（四一一）

桜井万里子・橋場弦編『古代オリピック』.....阿 部 拓 児・四（五五一）

荒松雄著『中世インドのイスラム遺蹟』.....長 島 弘・四（五五二）

ピーター・バーク著（石井三記訳）『ルイ一四世』.....山 中 聡・五（七一一）

川田稔編『浜口雄幸集』.....齋 藤 聖 二・五（七二二）

アンドレ・ジョリス著（瀬原義生監訳）『地域からみたヨーロッパ中世』.....古 井 佐 知 子・六（八五二）

【会 告】

平成十五年度史学研究会大会・総会の報告、講演要旨

（平 雅行「鎌倉幕府の寺社政策について」・石原 潤「現代中国の集市について」）.....一（一三四）

理事・評議員会報告.....四（五五六）

史学研究会役員.....四（五五七）